講演タイトル（日本語；MS Pゴシック、12pt）

物理花子A、化学かおるB、生物太郎C （日本語；MS Pゴシック、12pt）、＊＊＊

A所属、B所属、C所属 （日本語；MS Pゴシック、12pt）、＊＊＊

Title in English （Helvetica; 12pt）

Author A, Author B, Author C, ＊＊＊

AAffiliation, BAffiliation, CAffiliation, ＊＊＊

<以下、MS Pゴシックor Helvetica 10.5pt　日本語/EnglishどちらでもOK>

1. 序：研究背景と目的（Introduction: background and aim of this study）

最近、＊＊＊の観点から＊＊＊の物性や反応に興味が持たれている[1, 2]。特に、＊＊＊では、特徴的な表面状態を示し、＊＊＊などの研究が行われてきた[3, 4]。本研究では、新たに＊＊＊を解明することを目的として＊＊＊の研究を行った。＊＊＊＊

1. 実験/理論の方法（Experimental / Theoretical methods）

実験は、オペランド観測に対応した超高真空チェンバーに＊＊＊を設置した＊＊分光システムにより行った。試料は＊＊＊により、よく規定された＊＊＊表面を準備した。＊＊＊＊＊

理論計算は、＊＊＊によりDFT計算を行い、＊＊＊の電子状態と＊＊＊スペクトルを得た。

1. 結果と考察（Results and discussion）

＊＊＊を観測するために、＊＊＊分光測定を行った。Fig.１は＊＊＊を示す。この結果は、＊＊＊を示しており、＊＊＊と解釈できる。従来の研究では＊＊＊＊であり、＊＊＊と考えられてきた。本研究により初めて＊＊＊の観測に成功し、さらにキネティクスを定量的に明らかにした。理論計算と比較検討することにより、＊＊＊と解釈することができる。その結果、新たに＊＊＊であることがわかった。

Fig. 1 \*\*\*\*\* in English \*\*\*\*\*\*\*\*\*

1. 結論（Summary）

本研究では、＊＊＊＊の観測を行い、＊＊＊＊を解明した。

References

[1] A. B. Cando, J. Surf. Spectroscopy, **123** (2001) 456.

[2]

[3]

<１ページ以内におさめて下さい。>